

# 第9回日韓青年労働者交流開催!!

2012年11月10～13日に、韓国においてJR総連青年協主催の第9回日韓青年労働者交流が開催されました。貨物労組青年部からは本部青年部三役3名と各地本青年部2名、計15名で参加しました。日韓青年労働者交流においては、韓国の労働運動や過去について学ぶこと。そして韓国の労働者と交流連帯を目的に取り組んでいます。

結団式の中でJR総連の小室団長は冒頭、日韓青年労働者交流を取り組む意義や韓国で起きている情勢について話されました。そして私たちは現地で学び、体験して日本に帰り実践する事を課題におき、第9回日韓青年労働者交流はスタートしました。

韓国労働運動を肌で感じて学ぶために毎年行われる労働者大会に参加をしました。韓国労働者と連帯したたかう事で己の労働運動について考える事が出来ました。

労働者大会は1970年11月13日、チョンテイルという青年が安い賃金で1日16時間の労働を強いられ、ポロポロになっていく社会の底辺の労働者たちの姿の苦しみに「労働基準法を守れ」「我々は機会ではない」という叫び、人間らしく生きる権利、労働者の生きる権利を守ろうと自らの身体に火を放ち訴え亡くなった日に合わせて行われています。 ↑チョンテイル像と撮影



3日目は、韓国労働者（軌道連帯）と交流しました。交流会では韓国鉄道労組イ・ヨンギク委員長から講演を受け韓国の現状や闘いの報告を受け意見交換を行いました。その後の特別講演にキム・ジンスクさんから、韓進重工業において社員650名の整理解雇が言い渡され影島造船所85号クレーンに309日間籠城して抗議し、命を懸けて解雇を撤回させた闘いの報告を受けました。その後、質疑応答を行い、国を超え共に闘う事を確認しました。



**日本においても弱い立場に掛けられた現実は同じです!!**  
**私達が安心して暮らせる世の中していく為にも闘いを創りだそう!!**